

あそびまつりだより No.1

頌栄幼稚園

2022.9.16

2学期が始まり、園庭に少しづつあそびまつりの道具が出始めました。とんぼが気持ちよさそうに飛び回る下、子どもたちは自分の好きな遊びを見つけて日々楽しんでいます。同じ道具を使っても遊び方が違い、子どもたちの遊びは面白いなあと感じています。

さて、今年はどんな『あそびまつり』(頌栄幼稚園の運動会は「あそびまつり」と呼んでいます)になるのでしょうか？子どもたちの様子や遊びを、「あそびまつりだより」でお知らせしていきます！

あそびまつりのねらい

年少

- ・友だちと共に身体を動かすことを楽しむ。
- ・異年齢の友だちと関わり、ルールや順番があることを知る。
- ・自分でやりたいことを見つけて遊びを楽しむ。

年中

- ・自分にとって難しいことをできるまでやってみようとする。
- ・異年齢で遊び、協力する楽しさを味わう。
- ・みんなで作った遊びを共有し、ルールや順番を守るから楽しいことを知る。

年長

- ・一人ひとりが自分で決めた課題に挑戦し、最後まで諦めないでやり遂げる。
- ・異年齢で関わり、年長児として相手のことを考えたり助け合ったりして遊びを楽しむ。
- ・自分の思いを伝えたり、友だちの思いに耳を傾けたりしながら、創った遊びを通して力と心を合わせる喜びを味わう。

年少組



楽しいな♪上って踊りが始まりました。



こっぽりって
こうやって乗
るんだよ！



高くて怖いな…。
でも渡りたいな…。
そうだ！こうやって
みよう！
自分たちで怖くない
渡り方を考えまし
た！



よし、やってみるぞ！



みんなで持ったら運べるんだよ！



「高すぎると怖
いよ！」
年少組さんの言
葉を聞いて、年
中組さんが低い
所を作ってくれ
ました。

あかちゃんはこび
ロープを2人で持ち、ボールが落ちないようにそーっと運ぶ遊びが始まりました。

あかちゃんやから
優しく運ぼう！



チャレンジ（巧技台）
高いところに登るのが怖かったお友だちのために、考えて斜めの柱を付けました。

年中組



チャレンジ
「おおきいぐみさんが竹馬やったらまんなかぐみは
やっこかな？」「竹馬もやりたい！」

麻袋もデカパンもかぶってみよう！なんだかおばけみたい…！と大好きなおばけのイメージを、友達と共有しながら遊んでいました。子どもの好奇心が、やってみたら面白かった！に繋がっているのでしょうか。



年長組



原先生の運動遊びでの体験から、今年度は跳び箱チャレンジが盛ん。一生懸命跳んでいるのを見て、小さい組の子どももやって来ました。踏切板に興味があるようでぴょんぴょん自分の身体で実験していました。



A君は感覚的な発想、B君は理論的な発想、初日に違ったアイデアがぶつかり合ってさらに豊かな発想になりました。一輪車をどう立てたらいいかな？（反対向きに）カラーボックスを引っ張って中に何かを入れたら面白そう（水上アスレチックの縄を引っ張っていくのがイメージらしい）子どもたちの自由な想像がどんどん膨らみました。



夏休みの間に頑張った（難しいことにチャレンジした、乗れなかったのに乗れた！高い竹馬に挑戦した）子どもが竹馬を見せてくれました！自信に溢れて輝いた表情が嬉しかったです。